

小学3年 思考力テスト — 解答と解説

問1	問2
ウ	4 m 5 cm

21

22 (完答)

問3								
多い月	8	月	少ない月	10	月	本の差	3971	さつ

23

24

25

問4 (例)

夏休みになったため、子どもたちが図書館をりようすることがふえたから。

26

問5 (例)

本のタイトル	大どろぼうホッツェンプロッツ
すきな理由	主人公のカスパールが、大すきなおばあさんが大切にしていたオルゴールつきのコーヒーミルをホッツェンプロッツにぬすまれてしまったので、友人のゼッペルと力を合わせてホッツェンプロッツをつかまえようと、いろいろな作せんを考えてコーヒーミルを取りかえた場面では、思わず「やったあ」とさけびそうになるくらい気持ちがよくなるからです。

27

問6	
15	こ

28

問7			
まるっこい形のどんぐり		ほそ長い形のどんぐり	
38	こ	22	こ

29

30

問8 (例)	
しばふの色が夏の時期ではみどり色だったが、冬の時期は ちゃ色になっている。	

31

問9			
記号	イ	きより	2 km 300 m

32

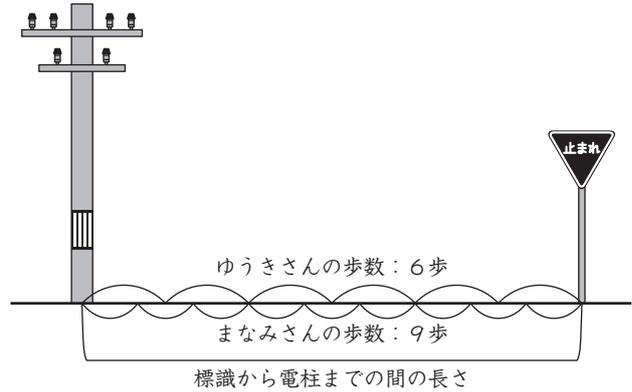
33 (完答)

(配点)
 問1～3 5点×3=15点
 問6、問7、問9 7点×3=21点
 問4、問8 10点×2=20点
 問5 20点
 計100点

【解説】

問1 B1 情報を獲得する 関係づけ

図のように「止まれ」の標識から電柱までのきよりは変わりませんので、歩数がちがうのは1歩をふみ出す長さがゆうきさんとまなみさんでちがうからです。



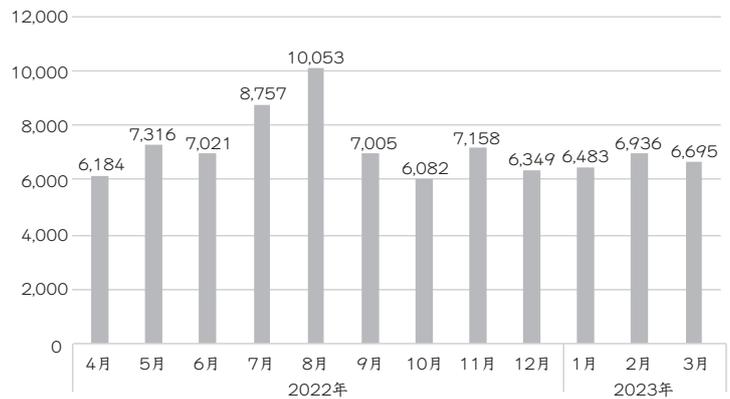
問2 B1 再現する 順序立てて筋道をとらえる

まなみさんの1歩の長さは45cmで9歩だったと書いてあるので、「 $45 \times 9 = 405$ (cm)」です。1m=100cmなので、405cmの場合は400cmと5cmとなり、4m5cmが答えになります。

問3 B1 情報を獲得する 比較 再現する

表を見るときにまず縦軸と横軸を確認します。縦軸は(さつ)と明記されているので、貸し出された本の数、横軸は月と明記されていることがわかります。ですから、一番高い棒の月が「じどう書」が一番多く貸し出された月となり、8月だとわかります。逆に、一番低い棒の月が「じどう書」が一番貸し出された数が少ない月になりますので、10月だとわかります。棒の上にそれぞれ数字が明記されていますので、8月は10,053さつ、10月は6,082さつだとわかります。

表 図書館で貸し出された数(じどう書)



本の数の差は、 $10053 - 6082 = 3971$ (さつ)

問4 B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 推論

「じどう書」はゆうきさんとまなみさんの会話の中で書かれていますが、小学生などの子どもたち向けの本になります。そして、一番多く貸し出されている8月だけ、1万さつ以上貸し出されていますので、そこから、夏休みに入ったので、図書館に行く子どもが増えたことが予想されます。

問5 C1 理由 推論 具体・抽象

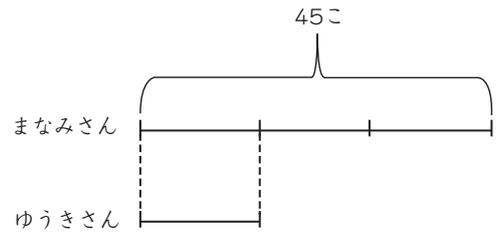
ふだん読書をしているのかどうか、問われる問題です。公立中高一貫校で実施される適性検査の作文などで出題されることもありますので、自分が思ったことや考えたことを表現する力を身につけていくようにしましょう。大人との会話をたくさんすることによって、ボキャブラリーを増やすことができ、表現しやすくなります。

この問題では、①好きな本のタイトルが書かれているかどうか、②その本が好きな理由が書かれているかどうか、③①②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

問6 **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 再現する

まなみさんがゆうきさんの「3倍」^{ばい}ひろったということは、45(こ)を3で割れば、ゆうきさんのひろったどんぐりの数がわかります。

$$45 \div 3 = 15 \text{ (こ)}$$



問7 **B2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる 特徴的な部分に注目する 再現する

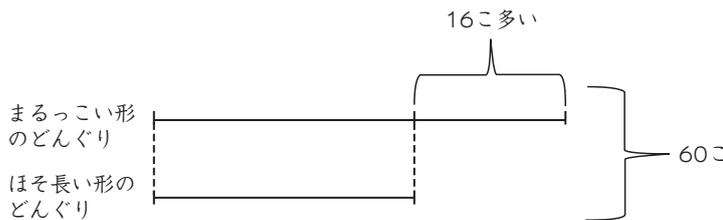
算数の和差算の基礎問題になります。中学受験の学習では、和差算は小学4年生以上で習う問題ですが、問6の図を応用して図のように考えることができるかどうか問う問題になります。ゆうきさんとまなみさんがひろったどんぐりの数は、 $45 + 15 = 60$ こだとわかります。そして、問題文に「まるっこい形のどんぐりは、ほそ長いどんぐりよりも16こ多い数」と書かれていますので、60こから16こを引いた数の半分が、ほそ長いどんぐりの数だとわかります。

$$60 \text{ (こ)} - 16 \text{ (こ)} = 44 \text{ (こ)}$$

$$44 \text{ (こ)} \div 2 = 22 \text{ (こ)} \dots \text{ほそ長い形のどんぐりの数}$$

したがって、22(こ)に16(こ)を足した数がまるっこい形のどんぐりの数になります。

$$22 \text{ (こ)} + 16 \text{ (こ)} = 38 \text{ (こ)} \dots \text{まるっこい形のどんぐりの数}$$



問8 **B2** 知識 関係づけ 推論

近年の入試は生活にちなんだ問題が出題されることが多くなっています。今までどんなことを経験してきたのか、問われる問題です。冬に見られる生物や植物、夏に見られる生物や植物などが答えられていれば正解になります。また、池に氷がはっていたなどの自然現象でも正解になります。小学生の間は、いろいろな経験をしておきましょう。

この問題では、①冬の時期に見られる生物や植物、現象が書かれているかどうか、②夏の時期に見られる生物や植物、現象が書かれているかどうか、③①②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④表記や表現に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問9 B1 情報を獲得する 調べる 再現する

地図からどの道のりがどのくらいのきよりになっているかを調べる問題です。

$1\text{ km}200\text{ m} + 2\text{ km}800\text{ m} = 4\text{ km}$ (4000m)・・・図書館の前を通る道のり

$800\text{ m} + 200\text{ m} + 700\text{ m} = 1700\text{ m}$ ・・・消ぼうしょの前を通る道のり

$800\text{ m} + 200\text{ m} + 900\text{ m} = 1900\text{ m}$ ・・・けいさつしょの前を通る道のり

一番近い道のりは消ぼうしょの前を通る道になり、一番速い道のりは行きに通った道になることがわかります。つまり、4000mと1700mをくらべることになります。

$4000 - 1700 = 2300$ (m) から、2km300m近くなるということになります。

